



## 2022年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年12月9日

上場会社名 株式会社ビューティガレージ 上場取引所 東  
 コード番号 3180 URL <https://www.beautygarage.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)野村 秀輝  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員経営管理グループ統括 (氏名)齋藤 高広 (TEL)03(6805)9785  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年4月期第2四半期の連結業績(2021年5月1日~2021年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年4月期第2四半期	11,475	37.1	585	65.9	583	61.2	323	63.6
2021年4月期第2四半期	8,372	8.6	353	12.3	362	14.5	197	20.9

(注) 包括利益 2022年4月期第2四半期 342百万円 (82.2%) 2021年4月期第2四半期 187百万円 (18.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年4月期第2四半期	51.35	—
2021年4月期第2四半期	31.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年4月期第2四半期	10,562	5,056	46.2
2021年4月期	10,043	4,733	45.5

(参考) 自己資本 2022年4月期第2四半期 4,876百万円 2021年4月期 4,574百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年4月期	—	—	—	14.00	14.00
2022年4月期	—	—	—	—	—
2022年4月期(予想)	—	—	—	16.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2022年4月期の連結業績予想(2021年5月1日~2022年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,061	17.7	1,301	30.0	1,304	20.8	795	21.6	126.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規1社(社名)株式会社BGリユース、除外ー社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年4月期2Q	6,376,000株	2021年4月期	6,376,000株
2022年4月期2Q	65,755株	2021年4月期	84,670株
2022年4月期2Q	6,297,065株	2021年4月期2Q	6,291,848株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスワクチン接種の進展、緊急事態宣言下での外出自粛などによる行動制限の結果、9月以降感染者が減少に転じ、景気の先行きは未だ不透明な状態ながらも10月からの緊急事態宣言の解除により経済回復の兆しが見えてきました。

美容サロン業界におきましても、夏場の感染者増に伴い厳しい状況が続いておりましたが、緊急事態宣言解除以降は、ほぼ通常営業に戻っており、来店客数も徐々に回復傾向にあります。

そのような状況下、当社グループでは、美容業界のデジタル化の進展に伴い顧客基盤を更に拡大することが出来たことに加え、美容業界の需要回復を背景に各事業とも順調に推移し、前年同期と比較して、業績を大きく伸ばすことが出来ました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は11,475,987千円（前年同期比37.1%増）、売上総利益は3,063,758千円（前年同期比14.5%増）、営業利益は585,879千円（前年同期比65.9%増）、経常利益は583,832千円（前年同期比61.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は323,344千円（前年同期比63.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### ①物販事業

物販事業におきましては、インターネット通販サイト「BEAUTY GARAGE Online Shop」、全国主要都市のショールーム&ストア+法人営業チーム、カタログ通販誌「BG STYLE」および各グループ会社を通して、理美容機器や化粧品・消耗品等のプロ向け美容商材を、国内外の理美容室、エステサロン、リラクゼーションサロン、ネイルサロン、アイラッシュサロン、フリーランスのビューティシャン向けに提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、引き続きECサイトのUI/UXの着実な改善と進化を継続することに加えて、商品ラインナップの拡充、新規グループ会社増・事業の分社化に伴う中古事業の強化など、美容商材流通のプラットフォームとしての役割強化に注力してまいりました。前年度からの美容業界流通のデジタル化の流れも続いており、アクティブユーザー数やロイヤルユーザー数、注文件数、ECサイトへのアクセス数も大きく増加致しました。

この結果、物販事業全体としての売上高は8,958,438千円（前年同期比29.8%増）、セグメント利益は453,043千円（前年同期比32.8%増）となりました。

#### ②店舗設計事業

店舗設計事業におきましては、連結子会社である株式会社タフデザインプロダクトにより東京・金沢・名古屋・大阪・福岡において店舗設計・工事施工管理を提供しております。

トレンドを捉えたデザイン性の高い店舗設計の提案を行うことで独立開業を目指す顧客から高い支持を得ており、新規開業顧客に加えて、大手チェーン店本部からの受注も獲得してまいりました。当第2四半期連結累計期間におきましては、美容サロンの営業もおおむね通常状態に戻ってきたこともあって新規店舗開設需要が拡大し、前年同期比で売上高、セグメント利益共に大幅増となっております。

この結果、当事業の売上高は2,065,589千円（前年同期比73.3%増）、セグメント利益は158,208千円（前年同期比419.3%増）となりました。

#### ③その他周辺ソリューション事業

その他周辺ソリューション事業におきましては、ビューティサロンの開業と経営に必要なサポートとして開業プロデュース、居抜き物件仲介、決済支援、集客支援、講習・アカデミー、損害保険、システム導入支援、店舗リース、M&A仲介、電力供給等の各種ソリューションサービスを、各種専門WEBサイトと全国主要都市のショールーム、各グループ会社を通して提供しております。

当第2四半期連結累計期間におきましては、各種サービスのうち、サブリース、提携ビジネスカード、損害保険が堅調に伸ばしたことにより、当事業の売上高は451,959千円（前年同期比61.3%増）、セグメント利益は38,590千円（前年同期比41.3%増）となっております。

## (2) 財政状態に関する説明

### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて5.0%増加し、8,192,107千円となりました。これは、主に売上債権及びたな卸資産の増加によるものであります。

### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べて5.9%増加し、2,370,509千円となりました。これは、主に投資その他の資産の増加があったことによるものであります。

### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて4.0%増加し、4,258,658千円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金及び賞与引当金の増加によるものであります。

### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.8%増加し、1,247,636千円となりました。これは、主に長期借入金及び契約負債の増加によるものであります。

### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて6.8%増加し、5,056,322千円となりました。これは、主に配当金の支払に伴い利益剰余金の減少88,078千円があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金の増加323,344千円があったことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年6月11日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,586,132	2,544,125
受取手形及び売掛金	1,817,123	1,896,938
リース投資資産	165,991	153,222
営業投資有価証券	195,265	197,585
商品及び製品	2,124,713	2,521,988
仕掛品	188,126	196,579
前渡金	474,736	357,381
その他	267,068	334,941
貸倒引当金	△13,481	△10,656
流動資産合計	7,805,676	8,192,107
固定資産		
有形固定資産	522,812	504,000
無形固定資産		
のれん	458,356	409,787
その他	345,324	381,253
無形固定資産合計	803,681	791,041
投資その他の資産	911,115	1,075,467
固定資産合計	2,237,608	2,370,509
資産合計	10,043,285	10,562,617
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,835,901	1,806,834
短期借入金	10,000	15,000
1年内返済予定の長期借入金	382,108	508,648
未払金	286,437	371,404
未払法人税等	340,732	254,482
前受金	447,159	578,814
賞与引当金	68,751	239,546
その他	725,407	483,927
流動負債合計	4,096,497	4,258,658
固定負債		
長期借入金	948,154	959,398
退職給付に係る負債	7,507	7,312
契約負債	127,144	145,078
資産除去債務	60,739	60,867
その他	69,785	74,980
固定負債合計	1,213,331	1,247,636
負債合計	5,309,829	5,506,295
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	768,385	768,385
資本剰余金	745,871	780,406
利益剰余金	3,200,609	3,435,875
自己株式	△134,002	△104,307
株主資本合計	4,580,863	4,880,359
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△6,593	△3,584
その他の包括利益累計額合計	△6,593	△3,584
非支配株主持分	159,185	179,547
純資産合計	4,733,456	5,056,322
負債純資産合計	10,043,285	10,562,617

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)
売上高	8,372,354	11,475,987
売上原価	5,695,474	8,412,228
売上総利益	2,676,880	3,063,758
販売費及び一般管理費	2,323,696	2,477,879
営業利益	353,183	585,879
営業外収益		
受取利息及び配当金	103	37
受取手数料	749	1,911
助成金収入	4,885	2,904
債務免除益	7,721	-
その他	2,856	1,907
営業外収益合計	16,315	6,760
営業外費用		
支払利息	1,742	3,501
為替差損	3,281	324
その他	2,343	4,982
営業外費用合計	7,367	8,807
経常利益	362,131	583,832
特別損失		
減損損失	-	21,638
投資有価証券評価損	21,708	-
商品廃棄損	-	19,471
特別損失合計	21,708	41,110
税金等調整前四半期純利益	340,423	542,721
法人税、住民税及び事業税	211,240	231,043
法人税等調整額	△59,242	△24,535
法人税等合計	151,997	206,507
四半期純利益	188,425	336,213
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,218	12,869
親会社株主に帰属する四半期純利益	197,644	323,344

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年5月1日 至2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年5月1日 至2021年10月31日)
四半期純利益	188,425	336,213
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△459	6,288
四半期包括利益	187,965	342,502
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,110	326,353
非支配株主に係る四半期包括利益	△8,144	16,148

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	340,423	542,721
減価償却費	80,895	103,452
減損損失	-	21,638
商品廃棄損	-	19,471
のれん償却額	21,715	53,978
投資有価証券売却損益及び評価損益(△は益)	21,708	-
債務免除益	△7,721	-
引当金の増減額(△は減少)	141,727	173,678
受取利息及び受取配当金	△103	△37
支払利息	1,742	3,501
固定資産除売却損益(△は益)	△356	766
売上債権の増減額(△は増加)	△392,878	△84,150
棚卸資産の増減額(△は増加)	49,622	△429,680
仕入債務の増減額(△は減少)	64,792	△29,247
前渡金の増減額(△は増加)	△60,266	117,354
未払金の増減額(△は減少)	163,339	85,266
前受金の増減額(△は減少)	180,548	129,529
その他	87,050	△199,685
小計	692,240	508,559
利息及び配当金の受取額	103	37
利息及び保証料の支払額	△1,554	△3,398
助成金の受取額	4,885	2,904
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△188,549	△314,585
営業活動によるキャッシュ・フロー	507,125	193,516
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,850	△11,400
定期預金の払戻による収入	-	17,700
有形固定資産の取得による支出	△53,222	△38,715
有形固定資産の売却による収入	3,619	94
無形固定資産の取得による支出	△29,229	△99,556
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	111,292	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△246,193	△6,579
敷金保証金の差入による支出	△119,833	△141,125
その他	5,939	2,680
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,479	△276,901
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	-	5,000
長期借入れによる収入	420,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△161,637	△282,216
リース債務の返済による支出	△2,473	△2,435
配当金の支払額	△63,110	△87,988
非支配株主への配当金の支払額	△1,988	△3,877
非支配株主からの払込みによる収入	46,300	16,396
自己株式の取得による支出	△57,088	△431
自己株式取得のための預け金の増減額(△は増加)	89,492	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△4,380	△19,119
財務活動によるキャッシュ・フロー	265,114	45,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,060	2,351
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	444,821	△35,706
現金及び現金同等物の期首残高	2,212,210	2,572,182
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657,032	2,536,475

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

#### ① 顧客に対する販促活動に係る収益認識

当社は、物販事業においてカスタマー・ロイヤルティ・プログラムを提供しております。カスタマー・ロイヤルティ・プログラムによる物品の販売については、従来は販売時に収益を認識するとともに、顧客に対する販促活動に係る支出に備えるため、将来使用されると見込まれる額を「ポイント引当金」として計上し、ポイント引当金繰入額を「販売費及び一般管理費」として計上していましたが、顧客に対する販促活動に係る支出を履行義務として識別し、将来の失効見込み等を考慮して算定された独立販売価格を基礎として取引価格の配分を行う方法に変更しております。

その他、従来、顧客から受け取る送料は「販売費及び一般管理費」の「荷造運賃」のマイナス項目として計上しておりましたが、顧客に対する履行義務として識別し、義務を履行した時点で売上高に計上し、一方、顧客への商品の発送に係る費用については、売上原価として計上する方法に変更しております。

なお、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「固定負債」に表示していた「ポイント引当金」は、第1四半期連結会計期間より「固定負債」の「契約負債」として表示することといたしました。

#### ② 一定期間にわたり充足される履行義務

店舗設計事業における工事契約に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用していましたが、少額かつごく短期な工事を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は80,490千円増加し、売上総利益は477,311千円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ9,495千円増加しております。なお、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年5月1日 至 2020年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,900,418	1,191,821	280,115	8,372,354	-	8,372,354
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,525	19,506	10,618	55,650	△ 55,650	-
計	6,925,943	1,211,328	290,733	8,428,005	△ 55,650	8,372,354
セグメント利益	341,265	30,465	27,307	399,038	△ 45,854	353,183

(注) 1. セグメント利益の調整額△45,845千円には、セグメント間取引消去30,075千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△75,930千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年5月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物販事業	店舗設計事業	その他周辺ソ リューション 事業	計		
売上高						
理美容機器・用品	3,981,086	-	-	3,981,086	-	3,981,086
化粧品等	4,691,448	-	-	4,691,448	-	4,691,448
金属スチール家具	285,904	-	-	285,904	-	285,904
その他	-	2,065,589	451,959	2,517,548	-	2,517,548
顧客との契約から生じる収益	8,958,438	2,065,589	451,959	11,475,987	-	11,475,987
外部顧客への売上高	8,958,438	2,065,589	451,959	11,475,987	-	11,475,987
セグメント間の内部売上高 又は振替高	19,158	2,351	2,337	23,847	△23,847	-
計	8,977,597	2,067,940	454,296	11,499,834	△23,847	11,475,987
セグメント利益	453,043	158,208	38,590	649,842	△63,963	585,879

(注) 1. セグメント利益の調整額△63,963千円には、セグメント間取引消去 18,144千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△82,107千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「物販事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては21,638千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計方針の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、第2四半期連結累計期間の「物販事業」の売上高は53,951千円増加し、セグメント利益に与える影響はありません。「店舗設計事業」の売上高は26,539千円増加し、セグメント利益は9,495千円増加しております。「その他周辺ソリューション事業」の売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報」に記載のとおりであります。